Crescendo

MEDIKIT ARTS CENTER くれっしぇんど

Vol.114

栗コーダーカルテット

こどもブンガクシリーズ#8「アリス」

Premium Select Concert＃3

マリンバを聴く～新進気鋭のマリンビスト 塚越慎子

栗コーダーカルテット

飛び出すこどもブンガクシリーズ＃8

劇団うりんこ「アリス」

マリンバを聴く

©Shingo Azumaya

メディキット県民文化センター

公益財団法人 宮崎県立芸術劇場

巻頭コラム

初めての音楽祭、初めての感動体験

1月に館長就任して初めての国際音楽祭。3月のアカデミーに始まって5月18日の最終コンサートまでの2か月、私にとっては実に新鮮で興味深い体験でした。いくつか心に残ったことを記しますと…。

1つは、演奏家の方たちの音楽祭に取り組む実に献身的な姿勢でした。どの演奏家も時間を惜しんで練習をされる。演奏会の前の公式練習だけでなく、1人で或いは数人で、ステージやリハーサル室で深夜までおやりになっている。音楽監督の徳永二男さんの日程は驚異的で、招待ソリストや楽団演奏家との膨大な練習に丁寧につきあわれるだけでなく、全体進行の相談を受け目配りする、合間を縫うように劇場の外のミニ演奏会をこなされるという超人的なものでした。楽屋で一休みされているかと思えば、そこでもご自身の気になるところを何回も何回も練習されていて「空いている時間に、短いフレーズを10回でも20回でも繰り返し練習するんですよ。ゴルフのショートパットの練習と同じです」と話される徳永さんの笑顔を見ながら、この音楽祭はそうした演奏家の方たちに愛され真剣に取り組んでいただくことで続いて来たのだと心うたれる思いでした。

2つ目は劇場にお見えになるお客様の温かい雰囲気です。演奏の後、鳴り止まない拍手が何回かありました。一番は最終日の「カルメン」の後で、これはソリストたち、広上淳一さん指揮の音楽祭管弦楽団、それに150人余の地元高校生たちの合唱が見事にかみ合い感動をもたらしてくれたからでしょう。もうひとつは「ヴァイオリン協奏曲の競演」の時でした。三浦文彰、ジュリアン・ラクリン、徳永二男という三世代の名手がそれぞれに魅力的な演奏をされた後、鳴り止まない拍手とアンコールの最後に、ピアソラの「リベルタンゴ」が演奏されると多くのお客様が立ち上がって拍手されました。東京から来ていたTVプロデューサーが「これほど演奏家とお客が一体になるのはすごい。宮崎のお客さんは温かい」と驚嘆していました。

演奏家とお客様によって作り出される感動の場…。私の音楽祭初体験はそれを実感することになりました。その感動の場は、地元の多くの企業や団体のご支援・ご協力や、膨大で長期にわたる準備と神経を使う運営実施にあたる劇場スタッフ抜きには実現しないものでした。

音楽祭をそうした感動の場としてより豊かに長く続けていきたい…。節目になる20回目の音楽祭に向けて動き出す時がもう来ています。

公益財団法人宮崎県立芸術劇場理事長 **佐藤寿美**

Special Interview

**宮崎国際音楽祭でもおなじみ！
次世代を担うマリンバ界の若きスター
塚越慎子さんの宮崎初ソロリサイタル
を9月14日（日）に開催します！
公演に先がけ、インタビューを敢行しました！**

マリンビスト 塚越慎子
Marimbist Noriko Tsukagoshi

国内外の数々のコンクールで受賞歴を誇る、現在最も注目を集めるマリンバ奏者。国際的指揮者シャルル・デュトワ氏は“私の知る限り、塚越慎子ほど素晴らしいマリンバの演奏を聴いたことがない。”と絶賛した。2009年には世界最大の打楽器フェスティバルであるPASIC（国際打楽器協会インターナショナルコンベンション）においてマリンバソリストとして出演した。アメリカ・ノーステキサス州立大学で研鑽を積み、パリ国際マリンバコンクール第1位など数多くのコンクール歴を誇る。現在、国立音楽大学、洗足学園大学で非常勤講師として後進の指導にも力を注いでいる。2011年3月にはソニー・ミュージックダイレクトよりCDデビュー、「レコード芸術」誌で特薦盤に選ばれる。最新盤は2013年12月にリリースされた「Passion」。2012年、第22回出光音楽賞受賞。

©Shingo Azumaya

―― マリンバとの出会い、そしてプロのマリンバ奏者になったきっかけを教えてください。

母親の影響から、物心ついたころにはピアノを習っていました。朝起きたらクラシック音楽のレコードやCDが流れている、といった環境で育ったため、音楽は生活の一部でもあったのですが、あまりピアノの練習が好きになれず…。そんなときに偶然マリンバの演奏を聴く機会があり、あの大きな楽器からは想像もつかないほどの温かい音色と、華麗なマレットさばきを目の当たりにして、これだ！と思い、始めたのがきっかけです。

―― マリンバならではの、魅力や面白さを教えてください。

木のぬくもりのある、あたたかな音色。マリンバの低音の響きは、まるで地から湧きあがるような深い響きで、心休まる美しい響きをもっています。それとは対照的に、きらきらと輝くかわいらしい高音の音色。また、使用するマレット（バチ）によっても、それをより効果的に表現することができます。「音程をもった打楽器」ならではの、旋律を奏でる表現の幅広さに加え、打楽器ならではのリズミカルさ、迫力ある音厚は、きっと皆様に楽しんでいただけると思います。

―― マリンバは、歴史の浅い楽器とのことですが、これからの“マリンバ”の可能性についてどう感じていますか？

マリンバが、現在のようなソロ楽器として確立したのは20世紀に入ってから。さらに、クラシックの作曲家がマリンバのために曲を書き始めたのは1950年代以降、と非常に歴史の浅い楽器です。

しかし、歴史が浅い分、これからの可能性を秘めている楽器でもあり、その未知なる可能性を探っていく楽しさがあります。クラシック音楽だけでなく、ラテン、ジャズ、タンゴなど様々なジャンルでも活躍できる楽器ではないかなと思い、挑戦しています！

―― 学生の頃と今では、練習方法などに変化はありますか？

アメリカ留学を機に、ひたすらに練習室で勉強することだけが勉強ではないなと感じています。

美しい自然に触れ、たくさんの友人と会話し、多くの芸術に触れ…常にアンテナを張った生活をすることで、音の表現の幅も広がっていくように思います。

―― 宮崎国際音楽祭をはじめ、宮崎にはどんな印象や思い出がありますか？

私が宮崎国際音楽祭に初めて参加したのは、今から5年前。超一流の音楽家の方々が集まる音楽祭に参加できることとなり、飛び上がるほど喜んでいたのが、ついこの間のように思い出されます。世界的な活躍をされている方々との共演や、当時、音楽祭の指揮者を務めていたシャルル・デュトワ氏との出会い…。そのことから得た影響の大きさを考えると、マリンバ奏者として今の私があるのは、宮崎国際音楽祭のおかげ、といっても過言ではありません。

そして、とにかく食べることが大好きな私。宮崎のとても美味しいお料理の数々に、いつも感動しています！

第19回宮崎国際音楽祭　ストリート音楽祭の様子

**9月13日（土）
マリンバ ワークショップ開催！**

公演前日に、塚越さんを講師に迎えて、小学生～高校生を対象にマリンバワークショップを開催します。
申込締切は、8月20日（水）までです。
詳しくは劇場HPをご覧ください。http://www.miyazaki-ac.jp/

―― 今回のプログラムの聴きどころと、公演に向けての抱負をお聞かせください。

マリンバのコンサート、というと現代音楽を思い起こす方が多いかと思いますが、今回はクラシックの作曲家による名曲をマリンバでお届けしたいと考えました。またそれに加え、私が今、虜となっているタンゴ音楽。そして、マリンバのオリジナル作品から超絶技巧作品まで。バラエティーに富んだプログラムをご用意いたしました。

今回の公演が、私にとって初めての宮崎でのソロリサイタルとなります。

今回初めてマリンバを聴く、という方にも、これまでに何度もマリンバのコンサートに足を運ばれ“マリンバ通だ”という方にも、皆様に楽しんでいただけるようなプログラムをご用意いたしました。

どの作品も心を込めてお届けいたします。ぜひご来場ください！

公演情報 Premium Select Concert #3

**マリンバを聴く
～新進気鋭のマリンビスト・塚越慎子～**

9月14日（日） 開場13:30 開演14:00

【出演者】塚越慎子（マリンバ）
【曲　目】J.S.バッハ：シャコンヌ ※シリーズ共通曲目
J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007より「プレリュード」
L.H.スティーブンス：リズミックカプリス　ほか
【会　場】アイザックスターンホール
【入場料】全席指定
一般3,100円（会員2,800円）
学割（小学生～大学生）1,500円
2公演セット券…5,200円 ※ドリンク券付き
※来年1月25日（日）に開催する、同シリーズの第4弾「チェロを聴く～巨匠のデュオ」との2公演セット券

大人気！
個性派集団！

栗コーダーカルテット

KURICORDER QUARTET

この夏、子どもも大人も ゆったりほのぼの 栗コーダーワールドへ

公演情報

栗コーダーカルテット

2014年8月23日(土)

【出演者】栗コーダーカルテット
【曲　目】小組曲「ピタゴラスイッチ」
帝国のマーチ(ダース・ベイダーのテーマ)
川口くんのおすすめトラッド　ほか
※都合によりプログラムは変更になる場合があります。
【会　場】イベントホール

●0歳から楽しむ栗コーダー(45分公演)　※0歳から入場できます。

開場10:30　開演11:00
【入場料】全席自由
未就学児500円　小学生800円　中学生1,000円　高校生1,500円
一般2,100円(会員1,900円)
※エリアセット券は完売しました。

●たっぷり楽しむ栗コーダー(100分公演)　※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

開場14:30　開演15:00
【入場料】全席自由
一般2,600円(会員2,300円)　学割(小学生～高校生)1,000円

Pick Up - CD

20th Anniversary Best 1994-2014
栗コーダーカルテット 20周年ベスト

結成20周年を記念し、6月25日にリリースされたばかりのアルバムをご紹介します。メンバー自ら選りすぐった全40曲が収録されている今回のアルバムは、オリジナル曲を集めた1枚と、名曲のカバーを集めた1枚の贅沢な2枚組です。栗コーダーカルテットの魅力を知るのにうってつけのアルバム！ぜひ、コンサート前にチェックしてみてください。

宮崎の皆さん、初めまして！栗コーダーカルテットです。8月に初めての宮崎市内でのコンサートを県立芸術劇場でやります。そこで今日は僕らのこと、コンサートのことを少し紹介させてください。

栗コーダーカルテットの結成は1994年です。「たま」のメンバーだった知久寿焼(ちくとしあき)の歌をリコーダーで伴奏したら面白いのではないかと企画したライブをきっかけにバンドとして活動を始め、同じ4人で活動を続けて今年で20年になります。結成した頃は、ポップスの分野で活躍していたものの、リコーダーアンサンブルの経験は無い、そんな4人が集まってリコーダーを吹いて音を合わせること自体がとても新鮮で楽しいことでした。その気持ちは今でも大切にしていますので、栗コーダーカルテットの演奏を聴いて、自分も楽器をやってみたくなった、楽器を始めたという声を聞くととてもうれしく思います。

素朴な音色や俊敏な運動性などリコーダーの魅力はいろいろありますが、中でも音を出すのが容易ということは大きな魅力だと思います。他の管楽器では音色を作るための練習に時間をさくところ、リコーダーは早くから表現やアンサンブルの段階に入れます。そして音を出しやすいとはいえ、吹く人によってまったく違った音が出てくるのが面白いところです。僕ら4人のリコーダーもそれぞれ違った個性があります。それを生かしつつ、ギターやウクレレ、テューバや打楽器などいろいろな楽器を組み合わせて使うことによって幅広い音色を作りだすのが栗コーダーカルテット流のアンサンブルです。

今回のコンサートは、0歳から入場できる11時からの回と小学生以上入場可能の15時の回、内容の違う2回公演となります。栗コーダーカルテットのお子さん向けの公演は、それ専用の曲を用意するというよりは、普段のレパートリーの中からお子さんでも聞きやすい曲、楽しんでいただける曲を選んでプログラムを組んでいます。11時の回はお子さんが集中できる45分ほどの短めの公演となっていますが、小さなお子さんがいて普段コンサートに足を運べないお母さん方にも楽しんでいただける内容ではないかと思います。また、15時の回は、懐かしいカバーやしっとりした曲も交えつつ100分ほどの公演になります。この時期に開催される吉澤実さんのリコーダーワークショップの受講生達との共演のステージもあります。2回のコンサート、それぞれに楽しんでいただけるとうれしいです。

それでは、8月23日に皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！

栗コーダーカルテット

飛び出すこどもブンガクシリーズ＃8

劇団うりんこ

アリス

世界中のこどもから愛され続けている『不思議の国のアリス』が、名古屋の児童劇団「劇団うりんこ」による舞台版となって、宮崎にやってきます。演出を手掛けるのは、宮崎出身の立山ひろみさんです。

＜飛び出すこどもブンガクシリーズ＞
「国内外の優れた児童文学作品をベースに舞台化したお芝居やダンス」を毎年1作品お届けするシリーズです。

撮影＝清水ジロー

劇団うりんこ『アリス』(2013年)

「黄金の昼下がり」から生まれた不思議な話

主人公アリスは、懐中時計を持った白ウサギを追いかけて、ウサギ穴に落っこちてしまい不思議な世界へと迷い込んでしまう…。英米で聖書とシェイクスピアについで読まれていると言われる『不思議の国のアリス』は、1862年7月4日の昼下がり、オックスフォード大学の数学講師だったルイス・キャロル(本名チャールズ・ラトウィッジ・ドジスン)が即興で作ったお話から誕生しました。

この日、ルイス・キャロルは同僚のダックワース、知人の娘リデル三姉妹とボートでピクニックに出かけました。少女たちにお話しをせがまれたキャロルは、三姉妹の次女アリス・リデルを主人公にしたお話をその場で作って聞かせました。この物語を気に入ったアリスは本に書いて欲しいとお願いし、キャロルはその求めに応じて文字も挿絵も手書きの本を作り、アリスにプレゼントしました。この時に『地下の国のアリス』と名付けられた物語が、のちにキャロル自身の加筆修正で『不思議の国のアリス』となって出版され、世界中で愛され続けていくことになります。また、2014年は『不思議の国のアリス』の挿絵を手掛けた挿絵画家ジョン・テニエルの没後100年の節目にあたります。

『不思議の国のアリス』が誕生した日のことを、キャロルは「黄金の昼下がり」と呼びました。物語のなかでアリスが繰り広げる不思議な冒険は、キャロルがこどもたちを楽しませるために生みだしたものなのです。

舞台版の「アリス」

今回上演する『アリス』は、12章ある物語から9つを使って舞台化しました。冒頭ではピクニックのシーンも描かれています。そこには「ピクニックに出かけた時にはお姉ちゃんも妹もいたのに、なぜアリスだけが特別なの?という思いがありました。そのため、三姉妹とも登場させて、みんなそれぞれに特別な存在なんだということを表現したかった」という演出の立山ひろみさんの思いがこもっています。

舞台版『アリス』は、チェシャ猫をモチーフとした舞台セットや原作に沿うように書かれた台詞、舞台上で生で鳴らされる効果音など、まさに『不思議の国のアリス』が現実世界に飛び出してきたようです。子供たちを愛したキャロルの物語から誕生した舞台版『アリス』も、きっと私たちを「黄金の昼下がり」へと導いてくれることでしょう。

わたし、道に迷うの得意です

Message

道に迷うのって短所？

「わたし、道に迷うの得意です」私はこの一見短所にしか見えない個性も、その人にしかない長所に変えたいと考えています。「道に迷うのが得意な人にしか、見えない世界もある!」私達は、自分とは違う人々と出逢って生きていきます。だから辛いコトもあるけれど、その違いまで楽しんでしまえば、もっと素敵ですよね。アリスは、道に迷うのが得意だから、時間に遅れたりしてしまうかもしれません。でも、どうか許してあげて欲しい。それに、私達の周りにいる、沢山の不可解な人々。彼らも『アリス』の世界では、面白い不思議の国の住人に早変わりです。自分自身と周りの人が愛しくなる、そんな冒険の世界にアリスと一緒に、迷いこんで頂けますように。劇場でお待ちしております。

立山ひろみ(演出家)

1979年生まれ。宮崎県出身。
東京学芸大学美術科演劇専修を卒業後、黒テント入団。佐藤信、山元清多、斎藤晴彦らの演出助手を務める。2008年、黒テントを退団し「ニグリノーダ」を発足。幼児向け作品『赤桃』を作・演出。その他、オペラシアターこんにゃく座公演 オペラ『ガリバー』(作:朝比奈尚行／作曲:萩京子)演出、同『森は生きている』(作・作曲:林光)演出助手などを手がける。
http://www.nigrinoda.jp/

公演情報 飛び出すこどもブンガクシリーズ＃8

劇団うりんこ『アリス』
7月12日(土) 開場13:30　開演14:00
【原　作】ルイス・キャロル
【脚本・演出】立山ひろみ
【出演者】和田和彦　佐々木政司　高木秀樹　平山真由美
和田幸加　佐藤敦子　丹波美貴　山内まどか
宮川団
【会　場】イベントホール
【入場料】全席自由　一般 2,600円(会員2,300円)
学割(小学生～大学生) 1,000円
親子割(一般＋学割) 3,100円 ※前売りのみ
※この公演は、都城市でも上演します。都城公演では5歳からご入場いただけます。　都城公演は、7月13日(日)15:00開演(14:30開場)
会場:都城市総合文化ホール　中ホール

Daichi Fujiki

藤木大地のカンタービレ Cantabile

©K.Miura

藤木 大地

2012年、日本音楽コンクール第1位。カウンターテナーとして史上初の優勝者となり、話題となった。13年にボローニャ歌劇場にデビュー。14年にはNHKニューイヤーオペラコンサートに初出演し、さらにはウィーン国立歌劇場と来シーズン(15年)の客演契約を結ぶなど、国際的な活動を展開する現在最も注目を集めるアーティストのひとりである。東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。新国立劇場にテノールとしてデビュー後、ボローニャ、ウィーンに留学。11年にカウンターテナーに転向。12年国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクール世界大会にてハンス・ガボア賞を受賞。宮崎市出身。ウィーン在住。

13の頃、宮崎からブルートレインで東京まで一人旅をした。祖母の家にやっかいになった、にわかシティボーイな数日間。その最後の夜に、ひとりで東京タワーに登った。きらめく夜景に「また来るぜ、東京」と誓った。

14の頃、中学校の図書館で分厚く立派な世界地図の本をみつけた。カタカナの地名、日本の何百倍もの地球上の広大な大地と海。「世界をまたにかけた仕事がしたい」と強く思った。なんの仕事かはわからなかった。

あれから20年。いろいろな景色をみた。多くの人に出逢った。聖地エルサレムも、真っ青なエーゲ海も、トイレが逆回りに流れる南半球も、イタリア貴族の館も、便座のないトイレも(笑)、音楽家として訪れた。憧れぬいたパヴァロッティが歌った同じステージでオペラを歌った。数カ国語を習得した結果、誰とでも自分の言葉で話すことができるようになった。

ぼくは移動中、なにもしない。本も読まないし、メールも原稿もつくらない。ロングフライト以外では、眠らない。目の前に座ったCAさんが見かねて声をかけてくれるくらい、本当になにもしないけれど、退屈もしない。ずっとなにかを考えている。空を飛んでいると、陸を高速で走っていると、あのころの気持ちを思い出すのだ。東京タワーからみた景色、地図でみた世界。あのときの決意。

旅は、顧みる。自分と、これまでの人生を。

音楽家になって、たぶん世界は広がった。だけど同時に思うのは、根っこのことだ。同じ図書館で別の本を読んでいた同級生たちが手に入れて行く、多くの幸せ。マイホーム、クルマ、いつも集まる大家族、毎週かかさない趣味、同じ場所で時間をかけて積み重ねていく、深く厚い人間関係と絆。ぼくが後回しにしてきたもの。

人生に正解も不正解もない。羨むものでも、自慢することでも、ひとと比べることでもない。ぼくは、音楽のおかげで見ることができた世界を、舞台で生きることの喜びを、あのときの決意と結びつけて考えている。みていたものは、はじめて見た風景とまだ見ぬ世界の広さだった。そしていまは、後回しにしてきた根っこのこともちょっと考えている。

だって、あと20年経ったら54だぜ!旅はまだまだ続くけど。あ、コラムも続きます♪

劇場は、「創る」「表現する」「観る」「感動する」「学ぶ」「支える」人でいっぱい

つながる∞ひろがる

学びながら伝えていく

稲森愛

宮崎県立芸術劇場主催「パイプオルガン・チェンバロ講習会」上級コース修了。2014年3月、アイザックスターンホールにてソロリサイタルを開催。(有)宮崎ピアノ技術センターで後進の指導にあたりながら、ソロやアンサンブルピアニストとしても活動している。

初めて県立芸術劇場で演奏したのは、開館してすぐの大学2年生の時でした。
あの感動と興奮から20年。特別でもあり身近な存在でもある県劇に、もう何度足を運んだか知れません。様々な形で関わり、多くの学びがある親しみ深い大切な場です。ピアノの世界で活動していた中、県劇主催パイプオルガン・チェンバロ講習会は、新しい古楽の世界へと引き入れてくれました。遂には小型パイプオルガンまで購入し、ミニ体験会を開くなど当初は想像すらしなかった方向へ進みつつあります。アドバイザーである大塚先生の真摯な姿勢と熱意は、音楽に対する新しい接し方を教えてくださいました。学んだら次に伝える…当たり前のようで難しいですが、共有の場が広がっていけばきっと楽しいことでしょう。愛する宮崎で、少しずつその手助けが出来ればと思っています。

新しい世界を学ぶ・知る喜びは計り知れません。劇場は正にビックリ箱。ぜひ箱を開けにいらしてみては如何でしょう。

劇場が育む心のつながり

廣田麻優子

宮崎大学　教育文化学部 学校教育課程　中学校教育コース 音楽専攻 4年
宮崎県立芸術劇場レセプショニスト

私は宮崎大学教育文化学部で音楽を専攻しています。そのため音楽に触れる機会はたくさんあるのですが、私が劇場のレセプショニストに応募したきっかけは、今まで自分が体験したことのない、音楽をとおした触れ合いができるのではないかと考えたからです。

大学に通いながらレセプショニストのお仕事をしていると、時には大変なこともあります。しかし、お客様をご案内した時や演奏会終了後、「良かった」「ありがとう」「また来たい」と笑顔で言葉を掛けて頂くことがあると、お客様の喜んでいらっしゃる気持ちを分けて頂いたようで、私自身が嬉しい気持ちでいっぱいになります。そのような嬉しいお客様とのつながりは、私にとって「演奏会運営のお手伝い」という新たな音楽との関わりがもたらしてくれたものです。

音楽を演奏する人、聴く人、運営する人の心がつながることによって、初めて演奏会が素晴らしいものになるのだと思います。劇場がそのような人と人との温かいつながりを育む場になるよう、私もお手伝いをしていきたいと思います。

メディキット県民文化センター（宮崎県立芸術劇場）

自主事業公演チケット情報

7月20日(日) 開場10:30 開演11:00 チケット発売中

アイザックスターンホール

パイプオルガン プロムナードコンサートVol.143

0歳からのパイプオルガン「オルガンで世界旅行！」

出演者：出演：大木麻里（オルガニスト）　伊豆謡子（司会・進行）
曲　目：ディズニーメドレー、威風堂々（E.エルガー作曲）ほか
入場料：全席自由
3歳以下無料　4歳以上500円
なかよしチケット（4歳以上～大人までの2人1組）500円
※前売りのみ

夏休みに、コンサートデビューしませんか？
未就学の小さなお子さまと一緒にご入場できる、
約1時間のオルガンコンサート！

7月12日(土)

開場13:30 開演14:00
イベントホール

チケット発売中

飛び出すこどもブンガクシリーズ#8
劇団うりんこ『アリス』 詳細は5P
入場料：全席自由　一般2,600円（会員2,300円）　学割1,000円
親子割（一般+学割）3,100円 ※前売りのみ

8月7日(木)

昼の部 開場12:30 開演13:00
夜の部 開場17:30 開演18:00
演劇ホール

チケット発売中

ミュージカル『王様と私』
入場料：全席指定　A席3,500円（会員3,200円）
B席3,000円（会員2,700円）
ペア券〔A席〕6,500円（会員5,900円）
ペア券〔B席〕5,500円（会員5,000円）
※ペア券は前売りのみ

8月23日(土)

イベントホール

チケット発売中

栗コーダーカルテット 詳細は3P

開場10:30 開演11:00
•0歳から楽しむ栗コーダー（45分公演） ※0歳から入場できます。
入場料：全席自由　未就学児500円　小学生800円　中学生1,000円　高校生1,500円
一般2,100円（会員1,900円） ※エリアセット券は完売しました！

開場14:30 開演15:00
•たっぷり楽しむ栗コーダー（100分公演）
入場料：全席自由　一般2,600円（会員2,300円）　学割1,000円 ※対象：小学生～高校生

8月30日(土) 8月31日(日)

8月30日 開場18:30 開演19:00
8月31日 開場13:30 開演14:00
イベントホール

チケット発売中

リーディングナウ2014
マッチ売りの少女たち～別役実初期作品群より
入場料：全席自由　一般1,500円（会員1,300円）　学割1,000円
演出家とオーディションで選ばれた県内の俳優が創りあげる朗読劇！

9月14日(日)

開場13:30 開演14:00
アイザックスターンホール

チケット発売中

Premium Select Concert#3
マリンバを聴く ～新進気鋭のマリンビスト・塚越慎子～ 詳細は2P
全席指定　入場料：一般3,100円（会員2,800円）　学割1,500円
2公演セット券5,200円 ※ドリンク券付き
＊2公演セット券…来年1月25日開催する同シリーズ第4弾公演「チェロを聴く～巨匠のデュオ」とのセット券

Attention（ご注意）
・記載情報は変更になる場合があります。・学割対象表記がないものは、小学生～大学生が対象です。・当日券が出る場合は、500円増（学割除く）になります。
・未就学児の入場はご遠慮ください。（0歳からのパイプオルガンと、0歳から楽しむ栗コーダーを除く）

F O R E S T A　C O N C E R T

11/23(日) フォレスタ コンサート

劇場友の会会員の皆様への感謝を込めて、先着800名様を無料でご優待します！

会員先行無料優待受付は、8月3日(日)～9日(土)の7日間限定！

BS日本テレビの人気番組「BS日本こころのうた（毎週月曜午後9時放送）」でおなじみの、混声コーラス「フォレスタ」！宮崎はもちろん、九州初登場です。

写真提供：BS日テレ

公演情報　宮崎県立芸術劇場友の会　会員特別企画

フォレスタ　コンサート
11月23日(日) 13:00開場　14:00開演
【会　場】演劇ホール（全席自由：1,100席）

◆会員先行申込期間：2014年8月3日(日)～8月9日(土)
＜先着800名様限定の無料優待＞
・会員様本人分のみお申し込みいただけます。
・上記期間内であっても800名に達した時点で予約受付を終了します。
また、800名に満たない場合でも、上記期間で無料優待申し込みを締め切ります。
あらかじめご了承ください。

◆一般発売開始・2014年8月10日(日)～
【入場料】　会　員　2,800円 ※1会員につき2枚まで
一　般　3,100円
学　割　1,500円（小学生～大学生）
・一般発売開始以降は、無料優待申し込みの受付がございません。
ただし、1会員につき2枚まで会員割引でご購入いただけます。
・当日券が出る場合は500円増し（ただし学割を除く）になります。

劇場友の会会員

●**くれっしぇんど倶楽部会員**（年会費2,000円）
主催公演のチケット料金割引や、優先予約・購入ができる特典があります。

●**高校生会員**（年会費無料）
当日券が出る場合、半額で購入できる特典があります（学割除く）。
宮崎県在住の高校生、またはそれに準じる方が対象の会員です。

お問合せ
公益財団法人 宮崎県立芸術劇場 MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER
〒880-8557 宮崎市船塚3-210
TEL.0985-28-3208　FAX.0985-20-6670
http://www.miyazaki-ac.jp/
twitterとfacebook随時更新中！「フォロー」と「いいね！」をお待ちしています。

宮崎県立芸術劇場　広報誌　くれっしぇんど（2014年6・7月号 vol.114）
企画・制作・発行／公益財団法人 宮崎県立芸術劇場　宮崎市船塚3-210　TEL0985-28-3208
印刷・製本／北一株式会社　宮崎市太田3-1-31　TEL0985-51-5100